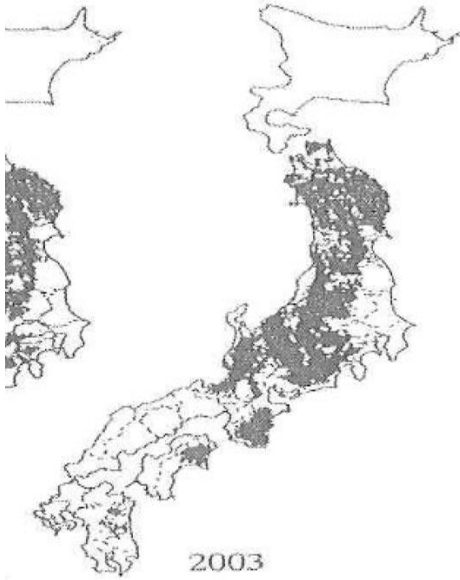


浅間山ニホンカモシカ観察会

2018. 6. 16 浅間山クラブ

1)カモシカはどこに住んでるの？

カモシカは主に落葉広葉樹の森林に生息する日本固有の野生動物です。限れた地域では木の育たない高山帯にもカモシカは生息していて、長野県浅間山は高山帯付近の草原でカモシカを見られる珍しい地域です。



カモシカの分布図(環境省)

2)カモシカはシカなの？

シカ(ニホンジカ)とカモシカはともに偶蹄目という分類群に属するため近縁であるといえます。ただし、偶蹄目の中でもシカはシカ科、カモシカはウシ科に属します。シカとカモシカは身近な動物でいうと、犬と猫くらい別の生き物だといえることができます。また、カモシカはウシ科の中でもヤギ亜科に属し、ヤギやヒツジなどと非常に近縁です。



オスメス
ともに角がある

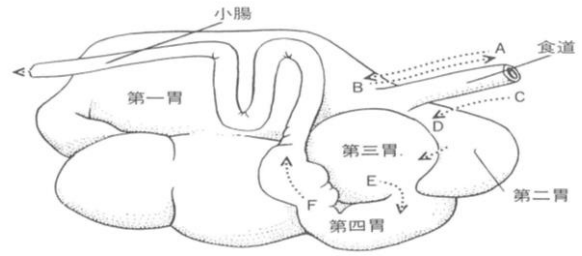


オスだけに
角がある



3)カモシカは何を食べてるの？

カモシカは木の葉や草を主に食べる草食動物です。カモシカは様々な種類の植物を食べますが、中でも広葉草本(丸みがかった大きな葉をつける草)を好んで食べます。カモシカは植物に含まれる栄養分を効率よく消化するために四つの胃を持っていて、一つ目の胃の中には微生物がたくさん住んでいます。この微生物たちはふつう消化液では分解できないセルロースを分解してくれます。また、栄養を効率よく吸収するために、一度食べた植物を吐き戻し、もう一度噛みなおして植物をより細かくする「反すう」をおこないます。



反すう動物の胃の構造

4)カモシカの一年

5-6月: 出産の季節

大人のメスはこの時期に1頭の子供を出産します。またこの時期に冬毛から夏毛への生え変わりがおきて、モコモコの冬毛が抜け落ちます。

7-9月: 子育ての季節

食べ物の植物が最も多い季節で、カモシカたちが活発に活動する季節です。食べ物がたくさんあるため子供のための母乳をたくさんつくれます。

10-11月: 恋の季節

植物が紅葉し始めるころはカモシカたちの恋の季節となります。普段は別々に行動していたオスとメスが一緒に行動するようになり、交尾をおこないます。

12-4月: 耐え忍ぶ季節

あたり一面雪に覆われ、食べ物が少なく厳しい季節です。移動するのも一苦労でカモシカの行動も鈍くなります。このころ子供はお母さんと別々に行動し始めます。

6)カモシカの行動

単独生活者

多くの大型草食動物が群れで生活しているのに対し、カモシカは基本的に単独で生活しています。交尾の時期や子育てのじきには、一時的にオスとメスの群れ、メスと子供の群れが形成されます。メスとオス、子供たちがたまたま合流すると最大5頭の群れにもなりますが、稀です。

カモシカ平のカモシカでは大人のメス同士が群れているところや、複数の子供と複数のメスが群れることがあります。

カモシカ特有の行動

・眼下腺こすりつけ

カモシカは目の下に眼下腺という甘酸っぱい匂い(よっちゃんいかみみたいな匂い)を分泌する臭腺を持っています。これを定期的に岩や木にこすりつける行動を眼下腺こすりつけ行動といいます。

・角こすり

角を木の枝や幹に強くこすりつける行動を角こすり行動といいます。老齢の個体は長年角こすりをおこなっていくうちに角がこすれてツルツルになる傾向にあります。

・タメ糞

カモシカは同じ場所に何度も糞をする習性を持っていて、このことをタメ糞といいます。大きいものでは二畳以上の広さに糞が積み重なったタメ糞場もあります。

カモシカを観察しよう

浅間山のカモシカ平の付近ではたくさんのカモシカを同時に観察することができます。カモシカをよく観察すると1頭1頭、顔の模様や角の形、体の色などが違うことがわかります。これを利用してカモシカを識別することができ、カモシカ平にいるカモシカ全部に名前を付けています。個体によって性格も様々で、観察を続けることによってそれぞれの個体がどのような暮らしをしているかを知ることができます。



ムギー：♀

ベジータ：♀

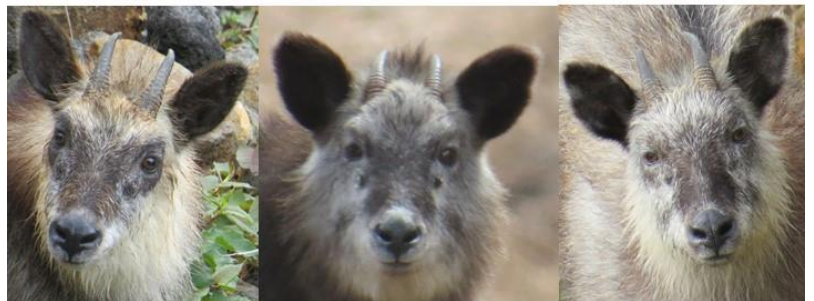
奴：♀



ミギー：♂

村上：♀

大島：♀



川村：♂

黒沢：♀

あさこ：♀

カモシカMAP

